



浮世絵は、世界にきわめて大きな影響を与えました。大胆なデザインがヨーロッパの芸術家に衝撃を与えたと言いますが、それを可能にした技術も大事です。ヨーロッパの木版画と比べると、信じられないほど多くの色を使い、ぼかしなど優れた技術が駆使されています。これは、和紙、馬簾など数十人もの職人の技が積み重ねられて可能になったのです。その中でも、最も重要な役割を果たした彫師と擦り師の技を、実演とお話により学びます。



ヨーロッパの木版画、キアロスкуро



日本の木版画、浮世絵

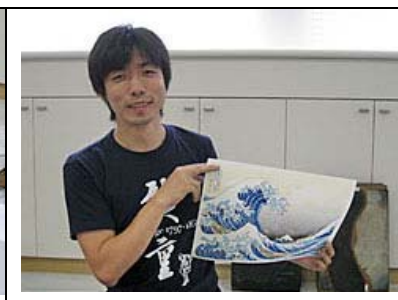
◆会場 ちよだプラットフォームスクエア504会議室(千代田区神田錦町3の21)

◆受講料 3,000円 (NPO 日本文化体験交流塾の会員は、2,400円)

◆講師 上田真吾氏(富士木版工房)

(参考) 前回の報告 → http://www.ijcee.com/koza/koza_080910_report.html

上田氏の紹介 → http://www.yamatogokoro.jp/yonehara/2008/07/post_11.html



上田さんは、南米やヨーロッパも訪問して、その技術を普及している。日本の風土があったから、良い木版画ができたと感じた。和紙、版木、湿度それぞれに秘密があるという。

◆申し込み方法 :定員 30名先着順

日本文化体験交流塾ホームページ(<http://www.ijcee.com/>) をご覧ください。

また、<http://shop.ijcee.com/>で受講券を発売いたします。

問合せ先 TEL090-1607-5099 米原、080-3313-1107 菊地メールアドレス info@ijcee.com